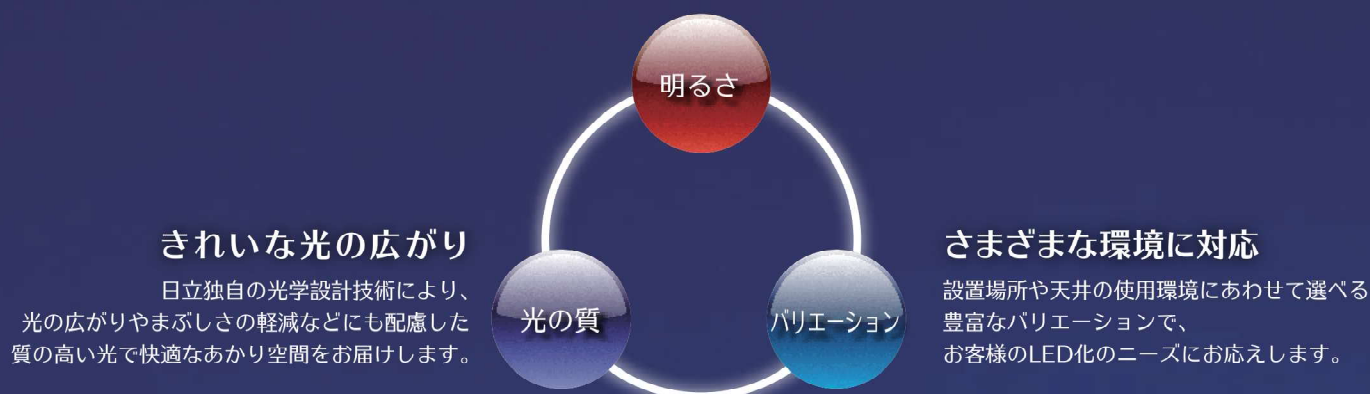


暮らしを支える光へ

LEDの優れた性能を引き出す、独自の放熱構造などの省エネ(エコ)技術をベースに「明るさ」「光の質」「バリエーション」の3つのこだわりでLED照明商品の開発に取り組んでいます。

明るさへのこだわり

高い省エネ性能はもちろん、
目的や場所に適した明るさにこだわったLED照明をご提供します。



日立の取り組み

社会や生活を支えるインフラとしてのあかりに、独自の先端技術と高い品質技術で、新しい価値を提供します。

独自の先端技術

日立グループの先端技術を結集した開発体制

LEDの特長を最大限に活かす
快適なあかり空間をめざし、
日立グループの研究所で磨かれた
先端技術を活用しています。



高い品質技術

国内自社工場での生産を基盤とした 高い品質確保と安定した生産体制

日立のLED照明は、業界規格への適合や
家電製品の製造で培った自社品質基準のもと、
高品質のLED商品を実現します。



検査

下記の主な品質基準(規格)に基づき
検査をしています。

- 品質マネジメントシステムに関する国際規格(ISO9001)
- 電気用品安全法
- 日本産業規格(JIS)
- (一社)日本照明工業会規格・ガイド

多賀事業所(茨城県 日立市)

ご存知ですか？

すべての一般照明用蛍光灯は
2027年末で製造・輸出入ができなくなります

蛍光灯がなくなる前に、 LED照明に切り替えをご検討ください。

2023年11月の「水銀に関する水俣条約第5回締約国会議（COP5）」で
すべての一般照明用蛍光灯の製造・輸出入の禁止が決定しました。

※製造・輸出および輸入を禁止するものであり、一般照明用の蛍光灯の継続使用、修理・交換のための使用および販売を禁止するものではありません。

製造・輸出入ができなくなる期限

ランプの種類	2024年	2025年	2026年	2027年
 電球形蛍光灯			2026年12月末	
 コンパクト形蛍光灯			2026年12月末	
 直管形蛍光灯			ハロ蛍光体を使用したランプ 2026年12月末	すべてのランプ 2027年12月末
 環形蛍光灯				
 水銀ランプ	2020年12月末で 禁止になっています			

※当社は、「蛍光灯および、蛍光灯を使用する照明器具」、「水銀ランプを含むHIDランプおよび、水銀ランプを含むHIDランプを使用する照明器具」の製造および販売を終了しています。

※HIDランプ（高輝度放電ランプ、High Intensity Discharge Lamps）は、水銀ランプ、メタルハライドランプ、高圧ナトリウムランプの総称です。

※詳しくは、（一社）日本照明工業会のホームページ（<https://jlma.or.jp/kankyo/suigin/index.htm>）をご参照ください。

LED照明への切り替え例

蛍光灯使用の照明器具	LED照明	水銀ランプ使用の照明器具	LED照明
 直管形器具 （直管形蛍光灯使用）	 交換形LEDベース器具	 吊具・反射笠器具 （水銀ランプ使用）	 高天井用LED
 スクエアタイプ器具 （直管形、コンパクト形蛍光灯使用）	 一体形LEDベース器具（スクエアタイプ）		
 ダウンライト （コンパクト形蛍光灯使用）	 LEDダウンライト		